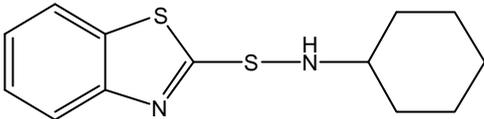


化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2001 - 25	官報公示 整理番号	5 - 256(化審法) 1 - 115(化学物質管理促進法)	CAS 番号	95 - 33 - 0
名 称	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド 別名：N-シクロヘキシルベンゾチアジール-2-スルフェンアミド、 CBS		構 造 式		
分 子 式	C ₁₃ H ₁₆ N ₂ S ₂		分 子 量	264.41	
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 95% 不純物 : 不明 添加剤又は安定剤 : 不明					
物理・化学的性状データ 外 観 : 灰白色固体 ²⁾ 融 点 : 94 以上 ²⁾ 沸 点 : 該当せず(分解) ³⁾ 引 火 点 : 168 (c.c.) ³⁾ 発 火 点 : 文献なし 爆発限界 : 文献なし 比 重 : d 1.26 ~ 1.31 ²⁾ 蒸気密度 : 該当せず 蒸 気 圧 : 該当せず 分配係数 : log Pow ; 5.0(実測値) ⁴⁾ 加水分解性 : 水中で加水分解を受け、ジ(2-ベンゾチアゾリル)ジスルフィド及びシクロヘキシルアミンを生じる 解離定数 : 文献なし スペクトル : 主要マススペクトルフラグメント m/z 98(基準ピーク, 1.0)、167(0.53)、264(0.12) ⁵⁾ 吸脱着性 : 文献なし 粒度分布 : 文献なし 溶 解 性 : 水に難溶 ²⁾ アセトン、クロロホルム、ベンゼン、トルエンに易溶 ²⁾ アルコール、n-ヘキサンに溶解 ³⁾ 換算係数 : 該当せず					

総合評価

1) 危険有害性の要約

本物質は皮膚、眼、粘膜、上気道に対する刺激性を有し、アレルギー性接触皮膚炎の原因物質となりうる可能性が示唆されている。その他のヒトでの急性あるいは慢性暴露時の有害性に関する報告はない。

実験動物においては反復投与により腎臓に対する影響が示唆される。変異原性、発癌性はいずれも陽性とする報告はない。生殖・発生毒性については、胎児に奇形の発生は見られないとする報告と奇形(水頭症)がみられるとする報告がある。

本物質は環境中に放出された場合、物理化学的性状から考えて主として土壌及び底質に分布するものと予想される。水圏では生分解されにくい、濃縮性は低い。環境省のモニタリングデータでは環境中から検出されたことはない。水圏環境生物に対する急性毒性は強い。特に、藻類及び甲殻類に対しては非常に強い。

2) 指摘事項

- (1) 皮膚、眼、粘膜、上気道に対する刺激性を有する。
- (2) アレルギー性接触皮膚炎の原因物質となりうる。
- (3) 実験動物において、催奇形性を示唆する報告がある。
- (4) 水圏環境生物に対する急性毒性は非常に強い。
- (5) 化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、排出量の管理が必要である。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料 (2001).
- 2) 13901 の化学商品, 化学工業日報社 (2001).
- 3) IUCLID (International Uniform Chemical Information Data Base) Data Set, EU (2000).
- 4) (財)化学物質評価研究機構調査資料 (2001).
- 5) NIST Library of 54K Compounds.